

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

28年 6月 29日

和歌山県知事

殿

提出者

住所 和歌山県日高郡日高川町高津尾1400-11
氏名 株式会社信濃組
代表取締役 信濃兵造
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0738-54-0334

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、27年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 信濃組
事業場の所在地	和歌山県日高郡日高川町高津尾1400-11
事業の種類	総合工事業
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	986t	全処理委託量	986t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	983t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

※事務処理欄



(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)

有 償 物 量

不要物等発生量

排 出 量

項目	実績値
①排出量	1,165.78t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	1,165.78t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	1,165.78t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	
⑮のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑯のうち再生利用業者への処理委託量	
⑰のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑱のうち熱回収を行う業者への処理委託量	
⑲のうち中間処理した後自ら再生利用した量	⑧
⑳のうち直接再生利用した量	②
㉑のうち直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③
㉒のうち中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	④
㉓のうち中間処理した後の残さ量	⑥
㉔のうち熱回収を行った量	⑤
㉕のうち中間処理により減量した量	⑦
㉖のうち中間処理した後自ら中間処理による減量した量	⑩
㉗のうち中間処理した後自ら再生利用による減量した量	⑪
㉘のうち中間処理した後自ら熱回収による減量した量	⑫
㉙のうち中間処理した後自ら埋立処分による減量した量	⑬
㉚のうち中間処理した後海洋投入処分による減量した量	⑭

自ら直接再生利用した量

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

㉑のうち再生利用業者への処理委託量

㉒のうち直接再生利用した量

㉓のうち直接埋立処分又は海洋投入処分した量

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)

①排出量	0 t	項目	実績値
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t	①排出量	0 t
③自ら中間処理により減量した量	0 t	②自ら直接再生利用した量	0 t
④自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0 t	③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	0 t
⑤自ら中間処理により減量した量	0 t	④自ら中間処理した量	0 t
⑥自ら中間処理した後の残さ量	0 t	⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	0 t
⑧自ら中間処理した後再生利用した量	0 t	⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	0 t
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0 t	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑪のうち優良認定業者への処理委託量	0 t	⑫のうち熱回収を行なう業者への処理委託量	0 t
⑬熱回収認定業者以外の熱回収を行なう業者への処理委託量	0 t	⑭のうち熱回収を行なう業者への処理委託量	0 t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

有 傷 物 量
不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量
②

排 出 量
① 412.88t

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理により減 量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 再生利用した量
①排出量	412.88t	④	⑥	⑦	⑩	⑫	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
②+③自ら再生利用を行った量											
⑤自ら熱回収を行った量											
⑦自ら中間処理により減量した量											
⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量											
⑪全処理委託量	412.88t										
⑫優良認定業者への処理委託量											
⑬再生利用業者への処理委託量	412.88t										
⑭熱回収認定業者への処理委託量											
⑮熱回収認定業者以外の業者への処理委託量											

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後 再生利用した量

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑫ 412.88t

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑯

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑰

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設混合廃棄物)

有 備 物 量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排 出 量
① 7.00t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目
①排出量
②+⑧自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

自ら中間処理
した量
④④のうち熱回収
を行った量
⑤自ら中間処理によ
り減量した量
⑥自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨自ら中間処理した後
直接及び自ら
中間処理した後の
処理委託量
⑩自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫⑪のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬⑪のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭⑪のうち優良認定
処理業者への
処理委託量
⑮

⑮ 7.00t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。